SOTEC

WinBook
WD シリーズ

ユーザーズガイド

このたびは、ソーテック WinBook WDシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書では、WinBook WDシリーズのご使用にあたって注意していただきたいことや、基本的な使いかたおよび、より有効に活用する方法を説明しています。

ご使用の前に「安全上のご注意」(☞2ページ)を必ずお読みください。

WinBook

本書の読みかた

マークについて

本書では次のマークが使われています。

マーク	説明
警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および、物的損害(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
メモ	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
チェック	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
☞ 参照ページ	その単語の詳細が別ページに紹介、または説明しています。本文とあわせて参照してください。
	参照していただきたい電子マニュアル(画面で見るマニュアル)の項目を紹介しています。

※1重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。
※2傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。
※3物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

モデル名の表記ルール

■OSの区別による表記

XP Homeモデル

Windows XP Home Edition をインストールしているモデル

XP Proモデル

Windows XP Professional をインストールしているモデル

チェック

・本書中に出てくる画面およびイラストは、モデルまたはご使用の環境により実物と異なる場合があります。
・本書中に出てくるホームページの内容およびアドレス、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

操作の表記ルール

メニューを選択する操作

つぎつぎとメニューを選択していく操作を「→」を使って省略しています。
たとえば、上画面のように、スタートボタンから「ペイント」のプログラムまでを選択する動作を、
[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ペイント]
と表記しています。

複数のキーを同時に押す操作

※製品によりキーボードの形状は異なることがあります。

何かのキーを押しながら、ほかのキーを押す動作を「+」を使って省略しています。
たとえば、上図のように、Shiftキーを押しながら、Deleteキーを押す動作を、

と表記しています。

キー表記とキーボードの対応表

キーボード上の各キーは、次のように表記しています。

本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー	本書の表記	実際のキー
Esc		Enter↵		End		変換	
Tab		BackSpace		↑↓←→		半角/全角	
Ctrl		Insert		PageUp		NumLk	
Shift		Delete		PageDown		(Windowsキー)	
Alt		Home		F1 F2…	…	(アプリケーションキー)	
Space							

Windows XPの表記ルール

カテゴリ表示モードの画面で説明しています

Windows XPには、カテゴリ表示モードと呼ばれる表示方法と、Windows2000など従来の表示イメージにあわせたクラシック表示モードと呼ばれる表示方法があります。本書では、カテゴリ表示モードの画面で説明しています。

Windows XP Home Editionの画面で説明しています

Windows XPには、Windows XP ProfessionalとWindows XP Home Editionの2種類のバージョンがあります。本書では、Windows XP Home Editionの画面で説明しています。

Windows XPまたはWindowsと省略して表記しています

本書では、Microsoft Windows XP Professional日本語版およびMicrosoft Windows XP Home Edition 日本語版を、Windows XPまたはWindowsと省略して表記しています。

安全上のご注意

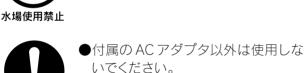
本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⃠記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。左図の場合は「分解禁止」という意味です。

● 記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

⚠ 警告（本機・ACアダプタ）

●洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

●電源が 100 ～ 240V の範囲内であることを確認して使用してください。
100 ～ 240V を超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

●絶対に分解したり修理・改造をしないでください。
火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。

● AC アダプタから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。
そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。
（発熱することは異常ではありません。）

⚠ 注意（本機・ACアダプタ）

●電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
故障の原因となります。

●振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。
故障による火災・感電の原因となります。

●ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。
異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じますと、ディスプレイを破損する恐れがあります。

●本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。
ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
漏電・火災の原因となります。

●熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、使用周囲温度(10 ～ 35℃)/ 使用周囲湿度 (20 ～ 80% ただし結露しないこと) を超える範囲では使用・保存しないでください。故障の原因となります。

●タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。
故障の原因となります。

●タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。
必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

●雷が近いときは、すみやかに電源を OFF にし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
また、モジュラーケーブルや LAN ケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。
故障の原因となります。

●電源ケーブルの上にものをのせないでください。
電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

⚠ 警告（バッテリ）

●付属のバッテリ以外は使用しないでください。
また、付属のバッテリを本製品以外に使用しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

●バッテリに強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

●バッテリ充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

分解禁止

●バッテリは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解・改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

●バッテリを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

●バッテリから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

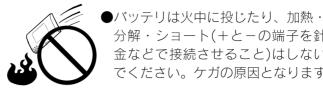
●バッテリが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

⚠ 注意（バッテリ）

●バッテリから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

●バッテリを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。バッテリの破損や性能・寿命を低下させる原因となります。

●バッテリを使う前に、サビ・異臭・発熱・その他異常と思われるときは、使用しないでください。ソーテックカスタマセンタにお問い合わせください。

●バッテリは火中に投じたり、加熱・分解・ショート(＋と－の端子を針金などで接続させること)はしないでください。ケガの原因となります。

●バッテリを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

●バッテリは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

⚠ 取り扱い上の注意

●液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。
破損する恐れがあります。

●本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。

●ハードディスクが動作中のときは移動させないでください。
故障の原因となります。

●本製品の付属物は大切に保存してください。

●ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイは非点灯、常時点灯などの画素が存在することがありますが故障ではありません。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

法規について

PCリサイクルについて

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。
詳細は当社Webサイト（http://www.sotec.co.jp/）を参照してください。

PCグリーンラベル制度について

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)により策定された「PCグリーンラベル制度」に合格致しました。
「PCグリーンラベル制度」とは、お客様が環境に配慮したパソコンをご購入になる際、商品選択を容易にするために、基準をクリアしたパソコンに「PCグリーンラベルロゴマーク」を表示する制度で、以下の3つのコンセプトから構成されています。

・環境（含3R※1）に配慮した設計・製造がなされている
・使用済み後も、引取り・リユース／リサイクル・適正処理がなされている
・環境に関する適切な情報開示がなされている

※1　3R＝リデュース（Reduce）、リユース（Reuse）、リサイクル（Recycle）

グリーン購入ネットワーク(GPN)について

本製品はグリーン購入ネットワーク(GPN)に適合しています。

輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。
必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。
輸出の許可の要否については、ご購入頂いた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

モデムについて

本製品を日本国内で使用する場合は、国または地域の選択を「日本」に設定してご使用ください。「日本」以外の設定がされている場合、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。なお、ご購入時には「日本」に設定されておりますので、そのままご使用ください。

レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802)クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報処理装置です。
この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとした、オフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。
このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
(社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

高調波電流規制について

この装置は、高調波ガイドライン適合品です。

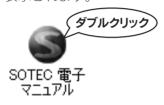
「SOTEC電子マニュアル」について

SOTEC電子マニュアルは、本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows XPやインターネットの便利な使いかたを、図解付きでわかりやすく紹介しています。

SOTEC電子マニュアルの起動方法

SOTEC電子マニュアルはデスクトップ上のアイコンから簡単に起動できます。

デスクトップ上にあるSOTEC電子マニュアルのアイコンをダブルクリックします。

メニューが表示されます。

目的に応じたメニュータイトルをクリックします。

サブメニューが表示されます。

サブメニューの中からタイトルをクリックします。

目的のコンテンツが表示されます。

コンテンツ画面の説明

①クリックすると、ほかのメニューに移動できます。
②クリックすると、ほかの情報に移動できます。

動作環境

SOTEC電子マニュアルは以下の動作環境で使用できます。

O　S	ブラウザ
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	Internet Explorer 6.0以降 （※1）

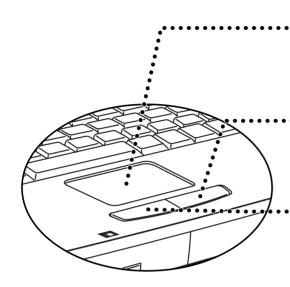
※1：JavaScriptおよびActive Xは無効にしないでください。

注意事項

・SOTEC電子マニュアルは、株式会社ソーテックの著作物です。
・SOTEC電子マニュアルは予告なしに変更される場合があります。また、SOTEC電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
・SOTEC電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
・SOTEC電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にSOTEC電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。

タッチパッドを使ってみよう

本機では、文字の入力以外、ほとんどの操作をタッチパッドで行います。ここでは、タッチパッドの基本操作を説明します。

タッチパッドの名前とはたらき

タッチパッド
指を触れて動かすと、画面上のマウスポインタがその動きに応じて動きます。指で軽く"トン"と1回たたくと左クリック、"トントン"とたたくとダブルクリックがボタンを使わずにできます。

右ボタン
右クリックするときに押します。
Windowsでは、右クリックするとショートカットメニューが表示されます。

左ボタン
左クリックするときに押します。ダブルクリックするときは、このボタンを素早く2回押します。

注　意

- タッチパッドをペン先などの先の尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。故障の原因となります。
- 2本以上の指や手袋をした指、また、濡れた指などで操作しないでください。正常に動作しません。また、指先の皮脂や汚れによっても正常に動作しない場合があります。そのときは、十分に汚れを取り除いてからご使用ください。
- マウスポインタはタッチパッドを軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を傷める原因となります。

SOTEC「電子マニュアル」参照

タッチパッドの操作方法
メニュー>ユーザーズガイド応用編>マウス>マウスの操作方法

キーボードを使ってみよう

キーボードは、文字や記号を入力したりパソコンへ指示をする役目をもっています。ここでは、キーボードの各キーの名前や機能について説明します。

キーはその機能によって、役割が大きく5つに分かれます。
本書では便宜上、キーボードにアミをかけて説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。

Windowsキー

単独で押すとWindows XPの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windows XPの代表となる機能がすぐに使えます。

[Windows]+F1	Windows XPの「ヘルプとサポートセンター」を表示
[Windows]+M	ウィンドウの最小化
[Windows]+Tab	タスクバーに表示されているボタンの切り替え
[Windows]+R	【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
[Windows]+E	マイコンピュータを起動
[Windows]+F	ファイルとフォルダ検索画面を起動
[Windows]+Pause	【システムのプロパティ】ダイアログを表示
[Windows]+Ctrl+F	コンピュータの検索画面を起動

アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

制御キー（薄いアミ部分）

文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド（命令）を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

文字入力キー

主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、CapsLock Shift NumLk ひらがな カタカナの各キーと組み合わせて、目的の文字が入力できます。

ファンクションキー

制御キーの一つであるFnキーとファンクションキーの組み合わせにより、画面の輝度を変えたり、省電力機能を作動させたりできます。

バッテリの警告音(ビープ音)を止める

FnキーをおしながらF2キーを押すと、バッテリの警告音が止まります。出荷時は警告音が鳴る状態になっています。

スピーカの音量を調整する

Fnキーを押しながらF3キーを押すごとに音量が下がり、F4キーを押すごとに音量が上がります。

タッチパッドの動作をON/OFFする

Fnキーを押しながらF5キーを押すと、タッチパッドの動作がOFFになります。もう一度Fnキーを押しながらF5キーを押すと、ONに戻ります。

輝度を調整する

Fnキーを押しながらF7キーを押すごとにディスプレイの輝度が下がり、F8キーを押すごとにディスプレイの輝度が高くなります。

表示画面を拡大する

Fnキーを押しながらF10キーを押すと、表示画面が拡大します。

チェック

表示画面の拡大機能は、画面解像度を800×600以下で使用中に有効です。

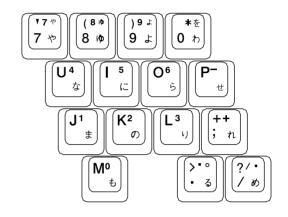
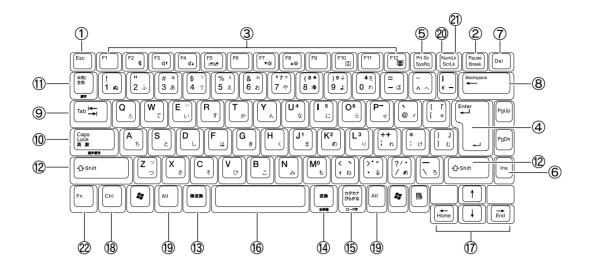
本体ディスプレイ表示か外部ディスプレイ表示かを切り替える

Fnキーを押しながらF12キーを1回押すごとに、①から③の順で、映像の表示先が切り替わります（③の次は①に戻ります）。(☞ 25ページ)

①本体ディスプレイ
②外部ディスプレイ
③本体ディスプレイ+外部ディスプレイ

テンキーを使って数字を入力する

通常、数字は英数モードのときにファンクションキーの下に並んでいるキーで入力することができますが、Fn+NumLkキーを押すことで、キーボードの図の部分(ニューメリックキー)でも数字を入力できるようになります。文字よりも数字の入力のほうが多いという場合などは、電卓のテンキーのように使うことができます。

各キーの機能

中止や中断させるコマンド(命令)を送る

① Esc（エスケープ）キー
設定を取り消したり、実行を中止します。

② Pause Break（ポーズ・ブレーク）キー
実行されている命令を中断したり、ブレーク信号を送ります。

設定されている機能を呼び出す

③ ファンクションキー
F1からF12キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド（命令）が割り付けられています。キーを押したときの動作はアプリケーションにより異なります。

コマンド(命令)や設定された機能を決定する

④ Enter（エンター）キー
あるコマンド（命令）の実行を決定したり、設定された機能を確定させます。
文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

画面のハードコピーをとる

⑤ PrtScr（プリントスクリーン）キー
表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

文字を編集する

⑥ Insert（インサート）キー【ロックされます】
文字入力のモードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「タイプオーバーモード」が切り替わります。

⑦ Delete（デリート）キー
カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。

⑧ Back Space（バックスペース）キー
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

⑨ Tab（タブ）キー
文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。Shiftキーと同時に押すと、一つ前のタブ位置まで戻ります。
表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

⑩ CapsLock（キャップスロック）・英数キー
【ロックされます】
アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。Shiftキーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。
ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。（☞12ページ「メモ」）

⑪ 半角/全角キー【ロックされます】
文字を入力しているときの文字種を切り替えます。Windows XPの日本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。
Altキーと同時に押すと「日本語入力モード」になります。

⑫ Shift（シフト）キー
ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

空白を入れたり、漢字に変換する

⑬ 無変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

⑭ 変換キー
日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

⑮ カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】
「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときはShiftキーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。
Ctrl＋Shiftキーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

⑯ スペースキー
文字を入力しているときに押すと、スペース(空白)が入ります。

カーソルを動かす

⑰ カーソルキー
キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

⑱ Ctrl（コントロール）キー
文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑲ Alt（オルト）キー
オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

⑳ NumLk（ニューメリックロック）キー
【ロックされます】
Fnキーと同時に押して使用します。ロックすると、テンキーをテンキーとして動作させます。ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。（☞下記「メモ」）

㉑ ScrLk（スクロールロック）キー
【ロックされます】
使用しているソフトにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。

メモ

・キーには、1回押すごとに状態が固定されてロック状態になるキーと、固定されずに押したときだけ機能するキーの2通りがあります。
ロックされるキーの中でも下の2種類のキーは、ロック状態になるとキーボード上のステータスLEDが点灯します。

㉒ Fn（エフエヌ）キー
他のキーと組み合わせて、画面の輝度を変えたり、省電力機能を作動させたりできます。
（☞10ページ）

CD-ROMを使ってみよう

ここでは、CD-ROMの使いかたを説明します。

注意

CD-ROMを使うときの注意

光ディスクドライブやCD-ROMディスクの取り扱いにあたっては次の点に十分注意してください。また、CD-ROMディスクを使わない場合は、パソコンの電源をOFFにする前にドライブから取り出して、適切な場所に保管してください。

清掃するときは、レコード用クリーナーやベンジン、シンナーではなく、必ずCD専用のクリーナーを使ってください。また、レンズクリーナーは乾式のものを使用してください。湿式は汚れを増長させますので絶対に使わないでください。

強い衝撃を与えたり表面に傷を付けないでください。また、ゴミやホコリの多い場所に置かないでください。読み込みエラーの原因となります。

記録面にラベルを貼ったり、ペンなどで字を書かないでください。

トレイを開けたままにしておかないでください。内部にゴミやホコリが入り込んで故障の原因となります。

SOTEC「電子マニュアル」参照

CD-ROMディスクの規格について
メニュー＞ユーザーズガイド応用編＞CD/DVD＞CD/DVDのディスクの規格について

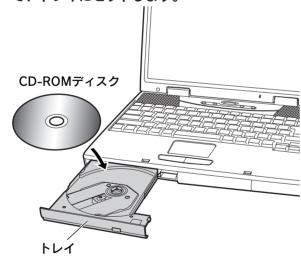
CD-ROMディスクの出し入れ

1 イジェクトボタンを押します。

トレイが出てきます。

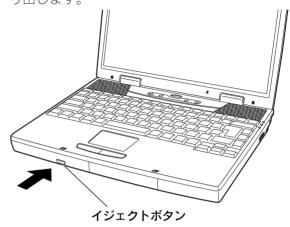
イジェクトボタン

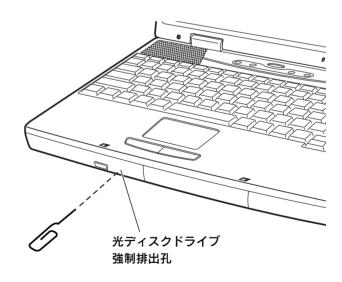
本機の光ディスクドライブは、本機の電源がONになっていないと動作しません。

2 CD-ROMディスクの記録面をトレイ側に向けて、トレイにセットします。

CD-ROMディスクはトレイの中心部で固定します。「カチッ」という音がするまで確実にCD-ROMディスクをトレイにセットしてください。

3 トレイを押し込み、光ディスクドライブを閉じます。

4 CD-ROMディスクを取り出すときは、再度イジェクトボタンを押します。

トレイが出てくるので、CD-ROMディスクを取り出します。

■トレイが出てこない場合は・・・

イジェクトボタンを押してもトレイが出てこない場合、イジェクトボタンの右横にある光ディスクドライブ強制排出孔に、針金など(太さ1mm前後)を押し込んでください。トレイを手動で取り出すことができます。

音量を調整する

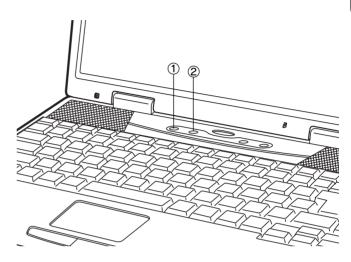
本機には、サウンド機能が搭載されており、音声を入出力する端子が用意されています。ここではサウンド機能の使いかたを説明します。

内蔵スピーカについて

本製品にはステレオスピーカが内蔵されています。スピーカからは3種類の音源から音声を出力できます。それぞれの音源は、Windowsの「ボリュームコントロール」で個別に音量の調整やミキシングができます。

PCスピーカ	コンピュータに標準で装備されている“ビープ音”を発生する音声です。
デジタルサウンド機能	16ビットDAコンバータを使用したサウンド回路からの再生音声、およびFMシンセサイザ音源から出力される音声です。
マイク入力	マイク端子に接続されたマイクまたは内蔵マイクからの音声です。

スピーカの音量を調整する

スピーカ/ヘッドホンの音量は次のように調整します。

①ボタンを押すごとに音量が上がります。
②ボタンを押すごとに音量が下がります。

SOTEC「電子マニュアル」参照

Windowsからの音量の調整
メニュー＞ユーザーズガイド応用編＞音声＞Windowsからの音量調節

音声の録音
メニュー＞ユーザーズガイド応用編＞音声＞音声の録音

画面の解像度を調整する

ディスプレイの解像度を変更して、より広い領域でWindowsを表示したり、フォントの大きさを変更して、文字をより見やすく表示できます。ここでは解像度や色数といった、画面の設定の変更方法について説明します。

解像度や色数の変更

画面の解像度、色数、フォントサイズは、【画面のプロパティ】ダイアログから調整できます。

1 デスクトップ上で右クリックして表示されるメニューから、[プロパティ] を選択します。

【画面のプロパティ】ダイアログが表示されます。

2 [設定] タブを選択します。

3 を左右にスライドさせ、画面の解像度を選択します。

メモ

・初期設定は「1024×768ピクセル」です。

4 ボタンをクリックし、画面の色（表示する色数）を選択します。

5 [適用] ボタンをクリックします。

変更を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 [はい] ボタンをクリックします。

SOTEC「電子マニュアル」参照

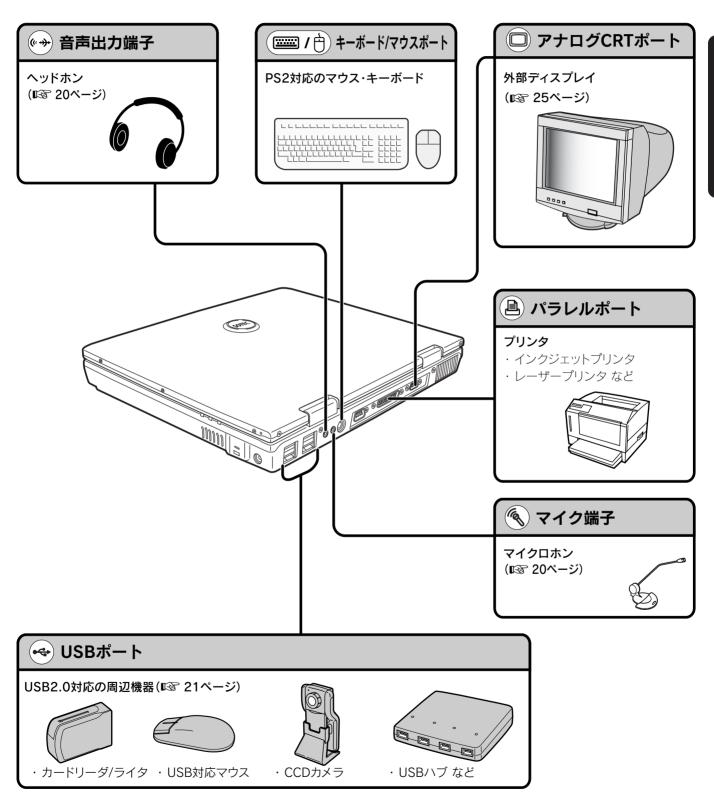
ビデオメモリの変更方法
メニュー>付属のマニュアル>ビデオメモリの変更方法

フォントサイズの変更方法
メニュー>ユーザーズガイド応用編>画像表示>フォントサイズの変更

壁紙の設定
メニュー>ユーザーズガイド応用編>画像表示>壁紙の設定

使用できる周辺機器

本機には、さまざまな周辺機器が接続できます。次にその一例を紹介します。

背面＆右側面

周辺機器を取り付ける前に

周辺機器を取り付ける前に、まず確認したり、作業しなければならないことを説明します。

電源をOFFにする

ケーブル類や、周辺機器を取り付けるときは、本機の電源をOFFにし、電源ケーブルをACコンセントから取り外します。電源ケーブルが接続されたまま周辺機器を取り付けると、本機を壊したり、感電する恐れがあります。

メモ

・USB対応の機器は、パソコンの電源をONにしたまま、取り付けや取り外しができます。

1 **本機の電源をOFFにします。**

2 **電源ケーブルを取り外します。**

3 **周辺機器を取り付けます。**

本体内部の機器を取り付けたり、取り外したりするときは、金属のへりでけがをしないよう、手袋をして作業をするなど十分に気を付けてください。

取り付け時の注意事項

体の静電気を取り除いてください

基板がむき出しになっているメモリなどは、静電気に弱く、帯電した手で触ると壊れてしまう恐れがあります。ドアのノブなど、身近な金属に触れて、体に帯電している静電気を取り除いてから、これらの機器を取り付けてください。

ユーザーズガイドをよく読んでください

周辺機器などは、取り外しや取り付けを間違うと、機器を壊してしまう恐れがあります。本書をよく読んでから、周辺機器を取り付けてください。

周辺機器に付属のマニュアルをよく読んでください

周辺機器に付属のマニュアルには、取り付け方法や、取り付けたあとに必要となるソフトウェアやハードウェアの設定方法が詳しく書かれています。

周辺機器のマニュアルをよく読み、必要な機器、および必要な設定ファイル（デバイスドライバなど）を理解し、これから始める拡張の作業に備えてから、周辺機器を取り付けてください。

プラグアンドプレイについて

Windows XPには、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使用できる状態に設定する「プラグアンドプレイ」という機能があります。プラグアンドプレイを実現するには、周辺機器に対応したデバイスドライバがWindows側で用意されている必要があります。
用意されていない場合は、Windowsのウィザード機能を使って、デバイスドライバをWindowsにインストールします。

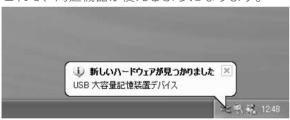
メモ

周辺機器を使うときは、「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器をコントロールするソフトウェアが必要です。
デバイスドライバは、あらかじめ本機のWindows側で用意されている場合と、周辺機器に付属している場合（CD-ROMディスクなどで提供されています）があります。周辺機器メーカのホームページから入手することもできます。

デバイスドライバがWindowsにある場合

周辺機器に対応したデバイスドライバが、すでにWindows側で用意されている場合は、周辺機器を取り付けるだけで、すぐに使える状態になります。

周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。

デスクトップ画面右下のタスクバーに、「新しいハードウェアが見つかりました」と吹き出しが表示されます。
これで、周辺機器が使えるようになります。

チェック
プラグアンドプレイに対応した周辺機器でも、設定が自動で行われない場合があります。

デバイスドライバがWindowsにない場合

周辺機器に対応したデバイスドライバがWindowsにない場合、周辺機器に付属しているデバイスドライバをWindowsにインストールします。

周辺機器を取り付けたあとに、電源をONにします。

【新しいハードウェアの検索ウィザード】ダイアログが表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

3

表示される指示に従って操作します。

デバイスドライバが正常にインストールされたことを示すメッセージが表示されたら、設定は終了です。

4

［完了］ボタンをクリックします。

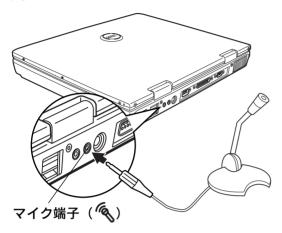
これで、設定は無事終了しました。

チェック
プラグアンドプレイに対応していない周辺機器の場合、デバイスドライバの組み込みや、リソースの設定を自分で行う必要があります。また、周辺機器側のディップスイッチなどを変更する必要があります。
詳細は、お使いの周辺機器メーカへお問い合わせください。

AV機器と接続する

本製品と接続できるAV機器の紹介と接続方法を説明します。

マイクロホンと接続する

市販のマイクロホンのプラグを、本機のマイク端子（🎤）に接続すると、マイクロホンから音声を録音できます。

メモ

・マイクロホンはステレオタイプのミニプラグ付きマイクロホンを、電器店などでお求めください。
・スピーカにマイクロホンを近づけると、スピーカとマイクロホンが共振し、キーンという音が出ることがあります。これを「ハウリング」と呼びます。ハウリングは、マイクロホンをスピーカから遠ざけるか、入力レベルを小さくする（ボリュームコントロールで調整）ことで防ぐことができます。

ヘッドホンと接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機の音声出力端子（((·→)）に接続すると、ヘッドホンから音声を出力できます。

メモ

・ヘッドホンはミニプラグ付きヘッドホンを、電器店などでお求めください。

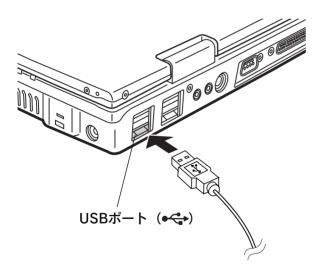
USB対応の周辺機器を使う

USBポートには、さまざまなUSB機器を接続して利用することができます。ここでは、本機の電源をONにした状態で、USB対応の周辺機器を接続する方法について説明します。

接続時の注意事項

- 接続前に、デバイスドライバのインストールが必要なUSB機器があります。
- ケーブルには差し込む向きがあります。無理に差し込もうとしないで、方向を確認して正しく差し込んでください。
- 本機には、4つのUSBポートを用意しています。どのUSBポートを使用しても構いません。
- USBポートの数が足りないときは、市販のUSBハブを接続して、USBポートの数を増やすことができます。

USB対応の周辺機器を接続する

本機のUSBポート（●⇔）に、USB機器のケーブルを差し込みます。

USB機器の接続後、しばらく待つと、画面の表示が切り替わり、【新しいハードウェアの検索ウィザード】ダイアログが表示されます。

2 表示される指示に従って操作します。

デバイスのインストールが終了したことを示すメッセージが表示されれば、設定は終了です。

チェック

- 表示されないときは、USBポートからコネクタを一度抜き、3秒以上時間をおいてから、再度差し込んでみてください。
- USB機器に、Windows XP対応のデバイスドライバが付属されていない場合、USB機器をWindows XPで使うための専用デバイスドライバが別途必要になります。

3 ［完了］ボタンをクリックします。

接続したUSB機器によっては、このあと、ソフトウェアのインストールなどの作業が必要になります。

チェック

- 次回からはUSBポートに接続するだけで、すぐに使用できます。
- 異なるUSBポートにUSB機器を接続すると、【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示される場合があります。その場合は、設定を再度行ってください。

SOTEC「電子マニュアル」参照

USB
メニュー＞ユーザーズガイド応用編＞周辺機器＞USB

メモリの増設

複数のアプリケーションソフトを使っているときなどに、処理速度が遅いと感じるようになってきたら、メモリを増やしてみましょう。ここでは、メモリについての基本的な知識と、メモリの増設方法について説明します。

メモリについて

メモリは、作業をするときの「作業机」のようなものです。机の上が広いと作業がしやすいように、メモリの総容量が大きいとアプリケーションソフトの動作も快適になります。

メモリの交換

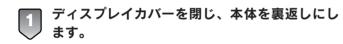
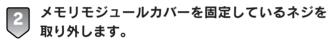
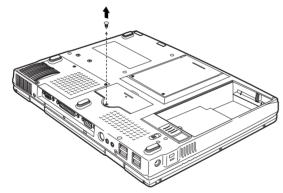
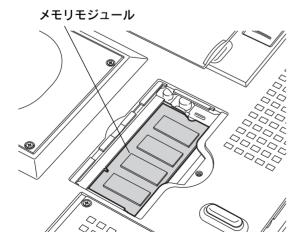
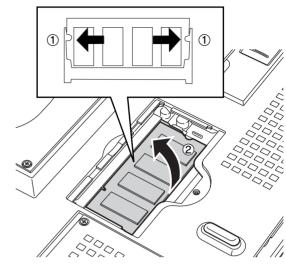
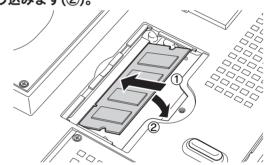
ここでは、メモリの交換方法を説明します。

注 意

メモリを取り扱うときに気をつけること

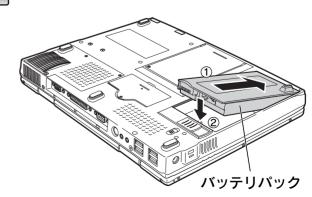
- 装着の前には、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- 装着の前には、必ずバッテリパックとACアダプタを取り外してください。
- メモリは静電気にたいへん弱い部品です。静電気を帯びた物や人の手でメモリに触れると、メモリが壊れる恐れがあります。メモリを取り扱うときは、体の静電気を取り除いてください。(☞18ページ)
- メモリの端子部には触れないでください。端子部分に手を触れると、接触不良によりメモリが壊れる恐れがあります。
- メモリはたいへん壊れやすい部品です。取り外したメモリは大切に保管してください。

1 ディスプレイカバーを閉じ、本体を裏返しにします。

2 メモリモジュールカバーを固定しているネジを取り外します。

3 メモリモジュールカバーを取り外します。

4 メモリを固定しているフックを開いて(①)、メモリスロットからメモリを取り外します(②)。

5 新しいメモリをメモリスロットのコネクタ部へ差し込み(①)、メモリのコネクタに差し込まれていない部分を「カチッ」と音がするまで下に押し込みます(②)。

チェック

メモリの向きを間違えないでください。また、メモリ下部の切り欠きがメモリスロットの凸部に合うようにしてください。

6 メモリモジュールのカバーを取り付け、ネジで固定します。

7 バッテリパックを装着、ACアダプタを接続します。

増やしたメモリを確認する

電源をONにして、メモリが増えているか確認しましょう。

1 本機の電源をONにします。

2 [スタート]ボタン→[コントロールパネル]を選択します。

【コントロールパネル】ウィンドウが表示されます。

3 [パフォーマンスとメンテナンス]を選択します。

【パフォーマンスとメンテナンス】ウィンドウが表示されます。

4 [システム]を選択します。

【システムのプロパティ】ダイアログが表示されます。

5 ここに表示されている数値を確認します。

メモ

・表示されたメモリの数値が増えていない場合は、メモリが正しく取り付けられているか、このパソコンで使えるメモリかご確認ください。

チェック

本機のメモリの一部は、ビデオメモリに割り当てられます。そのため、実際に取り付けたメモリ容量より少なく表示されます。

外部ディスプレイを接続する

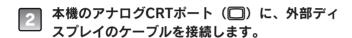
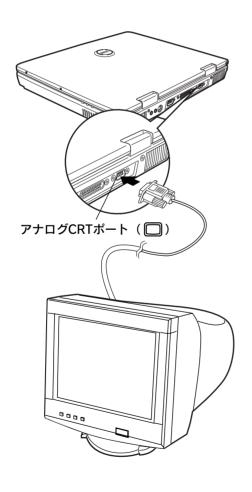
本機には、外部ディスプレイを接続するためのコネクタが装備されています。

1 本機の電源をOFFにします。

チェック

- 機器の接続の前に、本機の電源は必ずOFFにしてください。
- スタンバイや休止状態といった省電力機能が働いている状態では接続しないでください。省電力機能の状態の場合は、再度電源をONにし、［コンピュータの電源を切る］から「電源を切る」を選択しパソコンの電源をOFFにしてください。

2 本機のアナログCRTポート（ ）に、外部ディスプレイのケーブルを接続します。

チェック

- 本機の電源をONにしてから、外部ディスプレイの電源をONにしてください。
- 外部ディスプレイを接続した場合Windowsのコントロールパネルの［画面］で、「ディスプレイの種類」の設定変更が必要なときがあります。
- 本体ディスプレイと外部ディスプレイを同時表示する場合、接続する外部ディスプレイは、設定したデスクトップ領域(解像度)をサポートするものを使用してください。

メモ

- Fn＋F12キーを1回押すごとに、①から③の順で、映像の表示先が切り替わります（③の次は①に戻ります）。（☞10ページ）
  ①本体ディスプレイ
  ②外部ディスプレイ
  ③本体ディスプレイ＋外部ディスプレイ

「おかしいな？」と思ったら

本機のご使用中にトラブルが発生したり、疑問に感じたことがあれば、あわてずに次の項目をチェックしながら対処してください。

まずはじめに

あわてて対処しないでください

トラブルが発生したと思ったら、パソコンをそのままの状態で1分くらい放置してください。すぐに電源を切ったり、むやみにタッチパッドのボタンを押したり、キーボードのキーをたたいたりしないでください。
なんらかのメッセージが表示された場合は、そのメッセージを書きとめてください。

1 本書で該当する項目を探しましょう

☞「困ったときのチェックリスト」(28ページ)

本書に該当する項目があれば、本書の指示に従って解決してください。

2 オンライン情報から該当する項目を探しましょう

☞「パソコンで調べる」(27ページ)

本書以外にも、弊社Webサイト「ソーテックオンラインサポート」や、Microsoft社のWebサイト「マイクロソフトヘルプとサポート」に、トラブル解決のためのQ&Aが掲載されています。Windows XPおよびアプリケーションソフトのヘルプも活用してください。

3 パソコンを購入時の状態に戻しましょう

☞別冊「セットアップガイド」

本機をご購入時の状態に戻します。（この作業をリカバリといいます）
リカバリの前に、必要なデータや設定情報のバックアップを取ってください。

4 ソーテックカスタマセンタに連絡しましょう

☞別冊「SOTECケア・シート」

以上の方法でどうしても解決できないときは、ソーテックカスタマセンタに連絡してください。連絡前に、別冊「SOTECケア・シート」をよくお読みになり、注意事項などを確認してください。

パソコンで調べる

本書以外にも、次のWebページおよびヘルプをご参照ください。トラブル解決のための情報が提供されています。

■SOTEC電子マニュアル（デスクトップ画面上の［SOTEC電子マニュアル］アイコンをダブルクリック）

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows XPやインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

■マイクロソフトヘルプとサポート（http://www.microsoft.com/japan/support/）

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebページからダウンロードできます。

■ソーテックオンラインサポート（http://www.sotec.co.jp/support/）

弊社製品の仕様の公開や、ソーテックカスタマセンタに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。

■ヘルプとサポート（［スタート］ボタン→［ヘルプとサポート］）

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。

困ったときのチェックリスト

トラブルが発生した、または発生したと思ったら、次のチェックリストでパソコンの症状をチェックしてください。

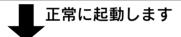
1 パソコンの電源はONになりますか？

●ONになりません（☞29ページ）

ONになります

2 Windowsは起動しますか？

●セーフモードで起動します（☞29～30ページ）
●起動しません（☞29ページ）

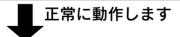
正常に起動します

3 Windowsの画面は表示されますか？

●表示されますが、正常ではありません（☞29～31ページ）
●セーフモードで表示されます（☞29～30ページ）

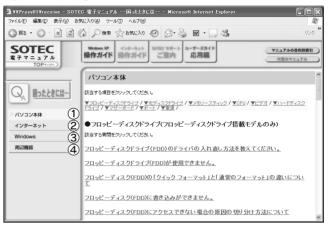
正常に表示されます

4 マウス・キーボードは正常ですか？

●正常ではありません（☞31ページ）

正常に動作します

SOTEC電子マニュアルを起動してください。

SOTEC電子マニュアルで調べる

Windowsの使用中に起こるトラブルや質問は、「SOTEC電子マニュアル」の「困ったときには」に記載しています。

① **パソコン本体**
フロッピーディスク、CD/DVD、CPU、メモリなどのトラブルや質問をまとめています。

② **インターネット**
インターネットや電子メールの使用中によく起こるトラブルや質問をまとめています。

③ **Windows**
Windows本体に関する質問をまとめています。

④ **周辺機器**
周辺機器に関するトラブルや質問をまとめています。

よくある質問集

本機の使用中に遭遇する、よくある質問や問題をまとめました。ソーテックカスタマセンタへお問い合わせいただく前に、確認してください。

パソコンを起動する前に

Q.1
海外のコンセントに接続して使用できるか

A. ・**AC電源が100V～240Vまでの間であれば使用できます(プラグの形状が異なる場合、変換プラグが必要)。**
ただし、日本国外で本機を使用される場合は、サポート対象外となります。

パソコンが動かない

Q.2
電源スイッチを押しても動かない

A. ・**ACアダプタは正しく接続されていますか？**
ACアダプタのプラグが本機と正しく接続されているか、ACアダプタの電源プラグが電源コンセントに正しく接続されているかをご確認ください。
・**バッテリは十分に充電されていますか？**
ACアダプタを接続して、バッテリを充電してからご使用ください。
・**ACアダプタが故障している可能性があります。**
他の電気製品を本機が接続されている電源コンセントに接続して、他の電気製品が動くかどうかご確認ください。他の電気製品が正常に動くようであれば、ACアダプタが故障している可能性があります。ソーテックカスタマセンタへお問い合せください。
・**本機が故障していることがあります。**
ソーテックカスタマセンタへお問い合せください。

Q.3
画面に何も表示されない

A. ・**本機の電源はONになっていますか？**
本機の電源スイッチをONにしてください。
・**表示モードの設定が外部ディスプレイになっており、外部ディスプレイの電源がOFFになっていませんか？**
本機の電源をONにし直してから再度、外部ディスプレイの電源スイッチをONにしてください。または、Fn＋F12キーを同時に押して、表示モードを本体ディスプレイに戻してみてください。

Q.4
パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

A. ・**パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。**
リカバリを試してください。
ただし、リカバリを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータは全て消去されてしまいます。
リカバリ方法は、「リカバリ」をご参照ください。
(☞別冊「セットアップガイド」)
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。
・**フロッピーディスクドライブを接続している場合、フロッピーディスクが入っている可能性があります。**
フロッピーディスクを取り出して、キーボードのいずれかのボタンを押してください。
・**これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、ソーテックカスタマセンタまでお問い合わせください。**

Q.5
パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A. ・**この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。**
セーフモードで起動した場合、ドライバや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみを行うよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

Q.6
周辺機器を取り付けたらWindows XPが起動しない

A. ・**周辺機器のデバイスドライバが原因で、Windows XPが起動できなくなった可能性があります。**
「セーフモード」でWindows XPを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバを無効にしてください。この方法でWindows XPが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバをインストールするか、デバイスドライバ自体を削除する必要があります。
「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

①本機の電源をONにして、「SOTEC」ロゴが表示されている間にF5キーを押します。
②[Windows拡張オプションメニュー]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
③[オペレーティングシステムの選択]で「Microsoft Windows XP」を選択してください。
④ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindows XPが起動します。
⑤［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［システム］アイコンを選択して、［ハードウェア］タブをクリックします。
⑥【デバイスマネージャ】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の【プロパティ】ダイアログで[全般]タブをクリックしてください。
⑦「すべてのハードウェアプロファイルを使用する」のチェックを外し、[OK]ボタンをクリックしてください。
Windows XPを再起動すると、通常モードでWindows XPが起動します。

・**この方法でもWindows XPが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。**

Q.7
終了できない

A. ・**電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。**
その際、必ず各種アクセスLEDがついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、電源ケーブルおよびバッテリパックを抜いてください。

パソコンを使っていたら

画面上のトラブル

Q.8
表示される日付や時刻が正しくない

A. ・**日付や時刻が間違った設定になっていませんか？**
Windowsのタスクバーの時刻をダブルクリックして「日付と時刻のプロパティ」を起動します。【日付と時刻のプロパティ】ダイアログで正しい日付や時刻を設定してください。

・**本機に内蔵されている電池が切れている可能性があります。**
マザーボードに取り付けられているリチウム電池の寿命は、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、ソーテックカスタマセンタに修理依頼を行ってください。

Q.9
日付の設定を変更しても元に戻ってしまう

A. ・**電池容量切れになっている可能性があります。**
日付設定などのバックアップ電源として内蔵電池を使用しています。この内蔵電池が容量不足になると、日付設定などのデータ保持ができなくなります。
電池は消耗品ですので、寿命があります。寿命についてはお客様のご使用状況により大きく異なりますが、平均2～3年です。本機の使用期間が2～3年経過していたら、ソーテックカスタマセンタに修理依頼を行ってください。

ディスプレイのトラブル

Q.10

いきなり画面が消えた

A. ・**スタンバイまたは休止状態に入った可能性があります。**
電源スイッチを押してください。
・**ACアダプタのプラグが電源コンセントから外れていませんか？**
コンセントまたはプラグを差し込みなおしてください。
・**バッテリの容量切れの可能性があります。**
バッテリを十分に充電してから、接続してください。

Q.11

画面表示にムラがある

A. ・**ディスプレイを見やすい角度に調整してください。**
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

マウスやキーボードのトラブル

Q.12

マウスポインタが動作しない

A. ・**接続ケーブルが外れていませんか？**
接続ケーブルを正しく接続してください。それでも動かない場合は、本機を再起動してください。
・**本機の電源をONにしたあとにマウスを接続していませんか？**
マウスを接続後、再起動してください。
・**適正なマウスドライバを使用していますか？**
市販されているマウスの中には、専用のマウスドライバが必要なものがあります。使用するマウスに付属のマウスドライバを正しくインストールしてください。

Q.13

キー入力中に突然カーソルが別の場所に移動してしまう

A. ・**タッチパッドの表面付近では、小さな反動でもカーソルが移動してしまうことがあります。**
親指がタッチパッドの表面付近にあるときなど、タッチパッドの表面のタッピング機能が反応することがあります。

Q.14

タッチパッドを使用したとき、マウスカーソルの動きが悪いことがある

A. ・**タッチパッドの表面が埃や汗などによって汚れていると、このような現象が発生することがあります。**
清潔な布などで、タッチパッドの表面の汚れをふき取ってからご使用ください。

Q.15

デバイスマネージャ上で日本語106（109）キーボードが、英語101（102）キーボードと表示されてしまう

A. ・**この現象は、Windows XPのシステムがプラグアンドプレイでキーボードを認識する際に、英語101/102キーボードが指定されているために発生します。**
回避策として、次の方法を試してください。デバイスマネージャから、次の手順で日本語106/109キーボードに変更します。
①［スタート］ボタン→［コントロールパネル］→［システム］アイコンを選択して、［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックして【デバイスマネージャ】ウィンドウを開きます。「キーボード」にある英語101/102キーボードをダブルクリックします。
③［ドライバ］タブを選択し［ドライバの更新］ボタンをクリックします。
④「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」をチェックして、［次へ］ボタンをクリックしてください。
⑤「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックして、［次へ］ボタンをクリックしてください。
⑥「互換性のあるハードウェアを表示」のチェックを外してください。
⑦「モデル」欄から「日本語PS/2キーボード(106/109キー)」を選択して、［次へ］ボタンをクリックしてください。
⑧［はい］ボタンをクリックしてドライバを更新し、パソコンを再起動してください。

Q.16

押したキーと違う文字が表示される

A. ・**CapsLock、ひらがな/カタカナなどが間違って押されていませんか？**
目的の文字がタイプされるようにCapsLock、ひらがな/カタカナキーを押してください。
・**キーボードのドライバは適正なものですか？**
キーボードのドライバがお使いのキーボードに対応したものではない可能性があります。キーボードのドライバを更新してください。

困ったときには

BIOSを設定する

ここではBIOSの概要と、BIOSを設定するための「BIOSセットアッププログラム」の操作方法について説明します。

BIOSとは

"BIOS"とは「Basic Input Output System」の略称で、パソコンを動作させるためのプログラムです。このBIOSの設定を正しく行うことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本機ではあらかじめ、最適の状態でBIOSが設定されています。ただし、本機の拡張などを行った際には、拡張する機器に合わせてBIOSの設定を変更する必要があります。

BIOSの設定は複雑で、誤った設定をしてしまうと、本機が正常に動かなくなる恐れがあります。特に理由もなくBIOSの設定を変更しないでください。

BIOSセットアッププログラムの起動方法

1 本機の電源がOFFであることを確認したあと、ディスプレイ、パソコンの順に電源をONにします。

2 "SOTEC"のロゴが入った画面が表示されたら、Deleteキーを押します。

しばらくすると、セットアッププログラムの起動画面が表示されます。

メモ

・BIOSの詳しい操作方法については、「SOTEC電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。

項目の選択・設定の方法

BIOSセットアッププログラムは、次のキーを使って操作します。

キー	説明
Esc	メニューを終了します。
← →	メニュー項目を選択します。
↑ ↓	カーソルを上下に移動します。
+ −	フィールドに対して値を選択します。
Tab	フィールドに対して選択します。
F2 F3	画面の表示色を変更します。
F1	ヘルプを表示します。
F10	現在の値を保存し、メニューを終了します。
Enter	コマンドの実行やサブメニューを選択します。

メニュー項目一覧

BIOSセットアッププログラムでは、以下の項目について設定することができます。

項目	内容
Main	本機の基本的な設定を行います。
Advanced	本機の詳細な設定を行います。
Boot	起動デバイスの順序を設定します。
Security	パスワードなどの設定を行います。
Exit	BIOSセットアッププログラムを終了します。

・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・本製品にあらかじめインストールされているWindows XP以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。株式会社ソーテックの許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
・本製品は、人命にかかわる設備や機器（医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など）や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

©2005 株式会社ソーテック
WinBook WDシリーズ
2005年5月 初版

・Intel、Intelロゴ、Pentium、Pentiumロゴ、Celeron、Celeronロゴは米国インテル社の登録商標です。
・Microsoft、Outlook、Windows、Windows XPおよびWindowsロゴは米国マイクロソフト社の登録商標です。
・Symantec、Symantecロゴ、Ghostは、Symantec Corporationの登録商標です。
©2005 Symantec Corporation. All rights reserved.
・VGAは米国IBM社の登録商標です。
・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

付録

マニュアルの読みかた

本で読むマニュアル

セットアップガイド

まず、これを読もう！

本製品のセットアップおよびリカバリ方法を説明しています。

SOTECケア・シート

サポートに関しては

お問い合わせ窓口、カスタマ登録の方法、修理依頼の方法など、サポート内容について説明します。

電子マニュアル（画面で見るマニュアル）

ユーザーズガイド（PDFファイル）

本製品の使いかた

本製品を使用するための基本的な操作方法や、接続できるさまざまな周辺機器を説明しています。また、使用中のトラブルの解決方法や予防方法を説明しています。
※ソーテックオンラインサポート（http://www.sotec.co.jp/support/）からダウンロードしてください。

デスクトップ画面上のアイコンをダブルクリック

SOTECパソコンを使いこなそう！

SOTEC電子マニュアル

本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows XPやインターネットの便利な使いかたを、図解つきでわかりやすく説明しています。本機の楽しみ方を探したいときなどに、ご参照ください。また、トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

EN5386A

SOTEC